

4/29 (水) 潤沼自然公園でひと時の安らぎを

春の大型連休期間中、潤沼自然公園は、連休を自然の中で過ごそうとする家族連れなどで賑わいました。

公園では、園内をのんびりと散歩する方、水遊びを楽しむ子どもたち、バーベキューで盛り上がる方々と、思い思いに連休を楽しんでいました。(表紙写真)

今年の連休は天候にも恵まれ、前年より約1700人多い約4600人の方に来園していただきました。

4/29 (水) ゆるキャラまつり in イオンタウン

イオンタウン水戸南(長岡)に県内外のゆるキャラが集合し、「ゆるキャラまつりinイオンタウン水戸南」が開催されました。このイベントには茨城町の「ひぬ丸くん」はもちろん、水戸市の「水戸ちゃん」、大洗町の「あらいっぺ」、遠くは群馬県から「ぐんまちゃん」など合計30体が集合しました。

大型連休の初日、大勢の来場者で賑わう会場ではご当地キャラクターと記念撮影をする姿が見られました。



4/7 (火) 4/8 (水) 出会いの春 各校で入学式

4月7日に小学校、8日に中学校で入学式が行われました。今年の新入生は町内の小学校では258名、中学校では295名です。新入生たちは、先生や先輩の温かい拍手で迎えられ、歓迎の言葉を受けていました。



青葉小学校入学式



防犯ブザー寄贈式

また、入学シーズンにあわせて、児童たちに防犯ブザー(常陽銀行)、黄色の通学帽(水戸農業協同組合)、ランドセルカバー(水戸地区交通安全協会)、ランドセルに付けるキーホルダー(住民の方の手作り)などが贈られました。

5/1 (金) 地域おこし協力隊始動! 地域力の維持・強化に期待

茨城町では、総務省が推進する「地域おこし協力隊」制度を活用し、都市部から地域おこし協力隊員5人を採用し、5月から茨城町に住む4人に委嘱状を交付しました。

地域おこし協力隊は、人口減少や高齢化等の進行が著しい地域において、地域外の人材を積極的に受け入れ地域協力活動を行ってもらい、その定住・定着を図ることで地域力の創造を図ることを目的とした制度です。

委嘱状を手渡した小林町長は、「縁があって茨城町にきていただいた。この町に来てよかったと実感できるような経験にして欲しい。一緒にまちづくりをやっていこう。」と隊員に呼びかけました。

植田晶さん(岐阜)

「以前岐阜で地域おこし協力隊をやっていた。その経験を生かして、農家宿泊や農業体験などに力を入れたい。」

井坂美咲さん(東京)

「大学生の目線から茨城町を見ていき、この町が女性にとって魅力的な町にしていけたらいいと思う。」

徳永裕邦さん(神奈川)

「日本の文化でもある農業に力を入れてやっていきたい。また、青年海外協力隊の経験を生かし、国際協力もやってみたい。」



和知弘朗さん(千葉)

「今まで培ってきた農業・医学・薬学の知識と経験を、新たな商品開発やマーケティングにいかしていきたい。」

〈集落支援員を設置しました〉

今年度茨城町では、上記地域おこし協力隊に加え、地区等の維持及び活性化を図るため、地域の実情に詳しい人材として、集落支援員を設置しました。集落支援員は、地域の方々と協力しながら、集落の状況把握を通して地域活性化のための提案や助言を行います。

長岡地区 雨谷 はるい 川根地区 市毛 栄 上野合地区 中村 誠  
沼前地区 早乙女恵美子 石崎地区 海老澤 律子

4/21 (火) メロンシーズン到来! 出荷目揃い会

メロンの本格的な出荷シーズンを迎えるにあたり、JA水戸茨城町メロン部会では、品質・規格を統一するための出荷目揃い会を開催しました。

目揃い会では、メロン部会の福島久夫部会長が「これからメロン出荷のピークを迎えるにあたり、しっかり目揃いをして、メロン産地としての名声を高めよう。」と生産者に呼びかけました。町内各地から集まったメロン生産者たちは、出荷方法や等級を説明するJA職員の話に熱心に耳を傾けていました。

また、この日は茨城町産メロンを取り扱う市場関係者も訪れており、水戸中央青果(株)の矢嶋さんは「より多くの方にメロンを手にとってもらいたい。茨城県がメロン産地No.1であることをPRすることが大切だ。」と話してくれました。



4/22 (水) ラムサール条約湿地 潤沼が新規登録候補地に

環境省は、国際的に重要な湿地の保全を目指すラムサール条約に、茨城県と茨城町、鉾田市、大洗町がその登録を目指している潤沼を含めた4か所を、日本が新規に登録する湿地の候補地にすると中央環境審議会野生生物小委員会に報告しました。

今後、5月下旬にラムサール条約事務局にて正式に登録され、6月にウルグアイで開催される第12回ラムサール条約締約国会議において登録認定証が授与されることとなります。新規登録候補地への指定を受け橋本昌茨城県知事は、「潤沼がラムサール条約湿地登録に指定され大変喜んでいる。登録されれば豊かな自然環境をアピールでき、イメージアップや地域の振興にもつながると期待している。」と談話を発表しました。

- 今回新規登録候補地となった湿地は以下の通り
- (1) 新規登録候補地(4か所)  
潤沼(茨城県)、芳ヶ平湿地群(群馬県)、東よか干潟(佐賀県)、肥前鹿島干潟(佐賀県)
  - (2) 登録区域拡張候補地(1か所)  
慶良間諸島海域(沖縄県)

